

授業科目(ナンバリング)		教職実践演習(中・高) (QB404)		担当教員 担当形態		乙須、木村、田中(誠)、中山、柳、 浦郷、川上、神野、中村(尚)、長津 複数・オムニバス				
教員免許状取得 のための選択の別	中・高等学校:必修		単位数	2単位	開講 年次	4年	展開 方法	講義	開設 時期	後期
科 目	教職に関する科目(教職実践演習)									
各科目に含める ことが必要な事項										
授業のねらい									アクティブ ラーニング の類型	
この授業は、教職課程科目の履修や様々な活動を通じて、学生が身に付けた資質能力が教員として必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、最終的に確認するものである。いわば全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」として位置付けられるものである。この科目の履修を通じて、学生が、将来教員になる上で自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活を円滑にスタートできるようになることが目標である。									⑤⑦⑩⑪	
ホスピタリティ を構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・ 方法		評価 比率		
専門力	教員として最小限必要な資質能力を理解し、それらがなぜ重要なのかを説明することができる。 教員としての自覚を持って、目的や状況に応じた適切な思考・判断をすることができる。					レポート		40%		
情報収集、 分析力	教職課程でのこれまでの学びの成果を証明するための資料を収集し、それらの資料を分析する中で教員としての自己の課題を見つけることができる。					ポートフォリオ		15%		
コミュニケーション力	板書、話し方、表情など、教員として必要とされる基本的な表現力を身に付け、実践することができる。 授業を通じて学んだことや自身の考えを論理的かつ説得的な形でレポートにまとめることができる。					レポート		20%		
協働・課題解決力	教育に対する使命感や情熱を持ち、自己の課題の解決に向け、常に学び、成長しようとする姿勢で授業に取り組むことができる。 学校現場が抱える問題に対して、教員という立場からその問題の解決に向けた方策を考えることができる。					レポート		25%		
多様性理解力										
出 席						受験要件				
合 計						100%				
評価基準及び評価手段・方法の補足説明										
毎回学生には授業の課題に沿ったレポートを提出してもらう。授業への参加(模擬授業、ロールプレイング、ディスカッション、ゲストスピーカーへの質問、発表など)についても、レポートの評価指標(ルーブリック)に基づき評価する。レポートの内容や形式等に関するフィードバックは授業中に適宜行う。										
授 業 の 概 要										
履修カルテの見直しとポートフォリオの作成を通じて、まずは学生が4年間の教職課程の学びを振り返り、自身の教員としての課題を自覚する。その上で、ロールプレイング、事例研究、模擬授業を通して、理論と実践との融合を図ると同時に、各学生の課題の克服を目指す。授業では、学校現場の状況をロールプレイングやゲストスピーカーの講話、ディスカッションを通して理解し、困難な問題が生じたときの対応など、具体的・実践的方策を学んでいく。模擬授業では、教育実習で行った研究授業を改善した授業を行い、反省会を行う。なお、この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。										
教 科 書 ・ 参 考 書										
教科書：特に指定しない。授業中、適宜資料を配付する。 参考書：西岡・石井・川地・北原著『教職実践演習ワークブック』ミネルヴァ書房、2013年。 梨木昭平『教職実践演習—ロールプレイ・ロールレタリング対応』大学教育出版、2013年。 指定図書：西岡・石井・川地・北原著『教職実践演習ワークブック』ミネルヴァ書房、2013年。										
授業外における学修及び学生に期待すること										
この授業は教職課程での4年間の学びを振り返る「学びの軌跡の集大成」である。教員生活を始めるにあたっての不安を払しょくし、知識・技能の不足を少しでも補えるよう、「教えることは、学ぶこと」であるということを常に意識して何事に対しても積極的に学ぶ姿勢で取り組んでもらいたい。										

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	授業の設定意義と概要、評価方法に関する説明、本授業での到達目標の設定、教職ポートフォリオの作成要領の説明 [担当：木村、乙須]	予) シラバスの確認 復) ポートフォリオの作成要領の確認、本授業の到達目標の確認 (レポート)
2	教職ポートフォリオの作成	教職ポートフォリオの作成、検討会に向けた準備 [担当：田中、川上]	予) ポートフォリオの準備 復) ポートフォリオの完成
3	教職ポートフォリオの検討①	履修カルテと教職ポートフォリオ、及びエビデンス(成果資料)を基にした4年間の学びの振り返り [担当：乙須]	予) エビデンスの収集 復) 本授業の到達目標の再確認
4	教職ポートフォリオの検討②	学校観察や教育実習など学校現場体験の振り返り、担当決め [担当：神野]	予) 実習日誌等の振り返り 復) 検討会の振り返り (レポート)
5	ロールプレイング①	生徒の悩みの相談を受ける [担当：柳、中村(尚)]	予) カウンセリングについて調べる 復) ロールプレイの振り返り
6	ロールプレイング②	保護者との面談 [担当：柳、中村(尚)]	予) 保護者との面談方法について調べる 復) ロールプレイの振り返り
7	ロールプレイング③	生徒の進路指導相談を受ける [担当：柳、中村(尚)]	予) 進路指導相談について調べる 復) ロールプレイの振り返り (レポート)
8	事例研究①	学校現場の状況に関する講話①(学校・家庭・地域との連携) [担当：ゲストスピーカー、中山]	予) 学校現場の状況について調べる 復) 講話の振り返り (レポート)
9	事例研究②	学校現場の状況に関する講話②(特別の支援を必要とする子ども達の状況) [担当：ゲストスピーカー、川上]	予) 学校現場の状況について調べる 復) 講話の振り返り (レポート)
10	事例研究③	いじめや不登校など、学校教育の課題を教員の立場から事例を通して実践的に考える [担当：乙須]	予) いじめや不登校などの現状を調べる 復) ディスカッションの振り返り (レポート)
11	模擬授業①	模擬授業、模擬授業の反省会 [担当：神野、長津]	予) 模擬授業の準備 復) 指導方法の振り返り (レポート)
12	模擬授業②	ICTを活用した模擬授業、模擬授業の反省会 [担当：浦郷]	予) 模擬授業の準備 復) 指導方法の振り返り (レポート)
13	模擬授業③	模擬授業、模擬授業の反省会 [担当：田中]	予) 模擬授業の準備 復) 指導方法の振り返り (レポート)
14	事例研究④	各学生が探究したい課題(テーマ)を発表し、それらについて受講生全員もしくはグループでディスカッションを行う [担当：浦郷]	予) 発表準備 復) ディスカッションの振り返り (レポート)
15	良い教師になるためには	本授業での到達目標の達成度の確認、履修カルテの完成 [担当：木村、乙須]	予) 到達目標の確認 復) 授業全体の振り返り (レポート)